



日本共産党

北区議会議員

のの山けん区政レポート

http://www3.kitanet.ne.jp/~nonoyama/ E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

No.166 2011.6.9

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

☎相談は
お気軽に **090-2156-3510**

北区が放射線測定実施へ

日本共産党北区議員団が区長に第4次震災対策申し入れ

6日、日本共産党北区議員団は、花川区長に対し、東日本大震災に関する第4次申し入れをおこない、放射線被害への対応、震災対策支援事業の拡充、節電対策、避難者への対応など10項目を要請しました。

とりわけ、福島第一原発の事故による放射線被害については、子どもをもつ保護者らから不安の声が多数寄せられており、北区としても測定器を購入し、学校や保育園などでの測定結果を一日も早く公表すること



花川区長（右）に要請する日本共産党北区議員団。6日、北区役所

を求めました。日本共産党の都議団と北区議団は、それぞれ独自に測定をおこなっています（都議団の調査結果は裏面参照）。

これに対し北区は、8日の災害対策本部会議で測定を実施することを決定、危機管理室長は「測定器購入には時間がかかるが、板橋区と同様、業者に委託して測定をおこなう」と北区議員団に伝えました。

家具転倒防止器具 1500件まで拡充

また、用意した500件に対し、1000件以上の申請があった家具転倒防止器具の無料取り付けについては、1500件まで拡充されることになりました。

放射線 子どもへの影響は

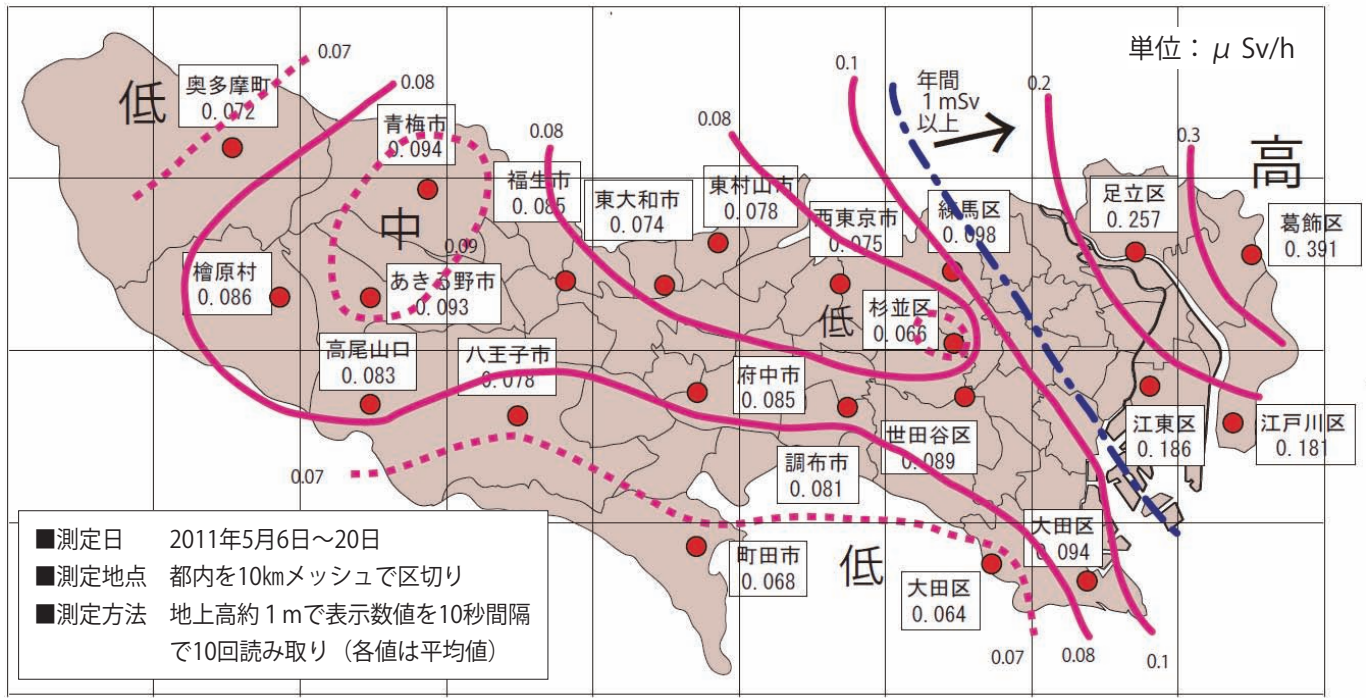
被災地調査報告と講演 6・2緊急集会

2日夜、北とぴあで日本共産党北区議員団が主催する「被災地調査報告と講演6・2緊急集会」が開かれました。区議団が5月におこなった被災地調査をスライドで報告した後、日大専任講師の野口邦和氏が原発事故による放射線の影響について講演。子どもをもつ保護者らから「水や食物への影響は」「プールの水は大丈夫か」などの質問が次々と寄せられ、野口氏がていねいに答えました。



「放射線からどう身を守る」の講演をおこなう野口邦和氏（日大専任講師）＝2日、北とぴあ

【資料】日本共産党東京都議団が実施した都内各地の放射線量調査結果



防災拠点としての機能充実を 新庁舎検討会での山げん区議

6日、第6回北区新庁舎建設基本構想検討会が開かれました。

今回は、3月から4月にかけておこなわれた「基本構想（案）中間のまとめ」に対する区民アンケート結果をうけて、新庁舎の規模について検討。全体の広さについては、床面積と駐車場をふくめ、3万3000㎡程度とすることが了承されました。のの山げん区議は「東日本大震災の経験を経て、あらためて庁舎の防災機能が問われることになった。区民ホールや議場なども災害時には避難所などに転用できるように、防災拠点としての機能を大きく確保すべき」と発言しました。

今年度内には基本構想を策定し、概ね8～10年後に、新庁舎の建設が完了する予定です。

今後の計画手順

新庁舎建設までの計画手順については、次のとおりです。

